PFAS対策技術コンソーシアム最新情報(2026年11月13日)

 # 産総研ユニットHP他に不具合があり12月まで停止しているため、臨時でこちらに掲示します。

01 ECHA規制の基礎コンセプトなのに日本人はだれも理解していない「SMART-PFAS」について下記で講演予定です

PFAS対策技術コンソーシアム特別セミナー (2026年11月17日)

#「2026 National PFAS Symposium」 (The University of Queensland, Australia) (2026年12月6日-9日)「Introduction of PFAS-AI/WAVEBASE by CAR-PFAS/TOYOTA」

https://www.nationalpfassymposium.com/

セミコンジャパン 「SEMICON Japan」(2026年12月9日-11日)「SMART-PFASとは何か？」

https://www.semiconjapan.org/jp

インターアクア「InterAqua 2026」(2026年12月16日-18日)「日本人が知らないPFAS対策技術」

https://www.interaqua.jp/

欧州PFAS対策技術現地見学会 (2027年2月22日-2月28日)「SMART-PFASのアジア中核機関としてのPFAS対策技術コンソーシアム」

「Eight Days of PFAS in Japan + one」で紹介しきれなかった、Lutz Ahrens博士の講演ビデオや「PFAS in India」レポートなど、貴重な資料を会員様に紹介できるシステムの構築を検討中です。もし協力して頂ける会員様がいらっしゃいましたら事務局までお知らせください。

02 「Eight Days of PFAS in Japan + one」で招へいした、Tarek Rashwan博士、カナダ企業のSavron社と協力し、「Smouldering」技術のオンサイト講習会をコンソーシアム会員向けに開催します

国内で入手可能な装置を組み合わせて、「Smouldering装置」を参加者自身で開発・設置するためのノウハウを、実際の装置を用いてTarek Rashwan博士自身に説明していただきます。1月から2月に一週間程度。会員向けの有償講習会(通訳有)です。会場スペース(東京又はつくば)もあるため先着10名、最大でも15名限定です。二酸化炭素/水/フッ化カルシウムしか生成しない世界最先端のPFAS熱分解技術の国内導入にご参加いただける方は事務局まで。下記文献を参考にしてください。

Smouldering to treat PFAS in sewage sludge

https://doi.org/10.1016/j.wasman.2023.04.008

03 ISO/TC 190/SC 3/WG 1 及び CEN/TC 444/WG 3で開発中の土壌中PFAS Total 測定技術 (EOF) についてPFAS対策技術コンソーシアムがISO/CEN国際規格策定委員として参加する事が決定しました

04 オーストラリア、Queensland大学のARC Training Centre とPFAS対策技術コンソーシアムの国際連携が決定しました

本連携を通して、PFAS対策技術コンソーシアム会員が保有する日本発技術の海外移転・事業化が可能です。基本的に日本側の提供資金の倍額がオーストラリア政府より国際連携活動に支給されますので、ご興味のある方は事務局まで。

12月の国際講演会では、本国際連携を記念して山下が招待講演を行います。

ARC Training Centre については下記参照。

https://criticalresources.org.au/

12月の国際講演会「2026 National PFAS Symposium」は下記参照

https://www.nationalpfassymposium.com/



NFS26 PROGRAM
6-9 DECEMBER 2026
Program Overview

Plenary Main Hall | Parallel Sections Rooms 1-3 | Panel Discussion Main Hall | Breaks and Social Events

SUNDAY 6 DECEMBER		MONDAY 7 DECEMBER		TUESDAY 8 DECEMBER		WEDNESDAY 9 DECEMBER	
14:00-17:00	Registration Opens	08:00	Registration Open	08:00	Registration Open	08:00	Registration Open
15:00	Welcome Ceremony Main Hall	08:40	Welcome from Chair Main Hall	09:00-09:40	Plenary 3 Main Hall	09:00-09:40	Plenary 5 Main Hall
15:20	Opening Plenary Address Main Hall	08:50	Opening Address Main Hall	09:40-09:50	Transfer	09:40-09:50	Transfer
16:00	Welcome Reception and Networking Main Hall	09:00-09:40	Plenary 1 Main Hall	09:50-10:40	Section 4 Rooms 1-3	09:50-10:40	Section 7 Rooms 1-3
16:50	Closing Remarks Main Hall	09:40-09:50	Transfer	10:40	Morning Tea	10:40	Morning Tea
		09:50-10:40	Section 1 Rooms 1-3	11:10-12:30	Section 5 Rooms 1-3	11:10-12:30	Section 8 Rooms 1-3
		10:40	Morning Tea	12:30	Lunch	12:30	All Talks Finish
		11:10-12:30	Section 2 Rooms 1-3	13:30-14:35	Section 6 Rooms 1-3		
		12:30	Lunch	14:35	Afternoon Tea		
		13:30-14:50	Section 3 Rooms 1-3	15:05-15:45	Plenary 4 Main Hall		
		14:50	Afternoon Tea	15:45-16:00	Preparation for Panel Discussion		
		15:20-16:00	Plenary 2 Main Hall	16:00-17:00	Panel Discussion Main Hall		
		16:00-16:10	Preparation for Panel Discussion	17:00-17:10	Silver Sponsor presentation		
		16:10-17:00	Panel Discussion Main Hall	17:10	Transfer By Ferry		
		17:00-17:20	Gold Sponsor presentations	18:30	Gala Dinner		
		17:20-17:30	Transfer				
		17:30	Posters & Drinks				

04 インドにおけるPFAS対策技術国際連携(CAR-PFAS India)が開始されました

インド有数の研究機関である、SRM Institute of Science and Technology, India、ISTAR(Institute of Science and Technology for Advanced Studies and Research)他とPFAS対策技術コンソーシアムの国際協力 (CAR-PFAS India) がスタートしました。

9月9日に「インドにおけるPFAS対策技術国際連携についてのオンライン打ち合わせ会議」を行い、アカデミア、政府機関、半導体・自動車メーカー、環境修復企業等、日本側の参加者にもPFAS対策技術の技術紹介を行っていただきました。10月27日より山下代表が現地を訪問し、現地調査/講義、MOU締結などを行った結果、SRM及びBhuj Universityを中心として正式に「日本とインドにおけるPFAS問題解決のための国際連携 : CAR-PFAS India」 が開始されました。近日中に日本とインドそれぞれのホームページで公開予定です。

特に、会員向け新着ニュースでも言及していますが、PFAS問題は工業用途使用が判明している数十種類の化合物の問題ではなく、むしろフッ素系医薬品や化粧品、データセンター冷媒など、未だに全容がつかめない、従来の枠組みでは残留性有機汚染物質(POPs)に該当しない、全てのフッ素系化学物質の地球化学的循環に関する視点が必要です。

この観点で全ての人工化学物質の坩堝であるインド産業と環境問題はPFAS問題の理解を次のステップに進めるために最適なフィールドです。国内半導体業界/自動車業界のPFAS対策の正常化を達成したPFAS対策技術コンソーシアムの次のターゲットとしてインドPFAS問題に調整したい方は事務局まで。

PFAS対策技術コンソーシアム事務局
pfas.info@campuscreate.com